

鯨舟競漕にチャレンジ

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

土佐室戸鯨舟競漕大会に参加するなど、地域の自然や文化に触れる活動を通して、青少年の郷土を愛する心、チャレンジ精神、社会性を育む。

○ 実施期間

令和元年7月13日（土）～令和元年7月15日（月）2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学4年生から6年生までの児童 31名／定員50名

○ 活動プログラム

7月13日（土）		7月14日（日）		7月15日（月）祝日	
12:00	徳島方面迎え出発	7:15	朝のつどい	7:00	清掃・点検
12:00	高知方面迎え出発	7:30	朝食（食堂）	7:15	朝食（食堂）
14:30	鯨館到着・開講式	8:15	バス移動	8:00	バス移動
14:40	鯨館見学	9:00	とろむ到着	8:45	佐喜浜到着
15:10	バス移動		鯨舟競漕大会に参加	9:00	クルージング （ホエールウォッチング）
15:30	とろむ到着 鯨舟操船練習		昼食（弁当）		荒天時：海のクラフト
16:50	バス移動		大会表彰式		昼食（弁当） アンケート
17:20	入所	16:00	バス移動	12:30	
17:30	夕べのつどい	16:30	自然の家到着	13:15	閉講式
17:45	夕食（食堂）	17:30	夕べのつどい	13:30	バス送迎
19:00	鯨舟に飾る旗を作ろう	17:45	夕食（食堂）	15:30	徳島方面最終下車
20:00	入浴	19:00	入浴	16:30	高知方面最終下車
21:00	就寝	21:00	就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

今年度は、高知県・徳島県の小学4年生から6年生の31名が、「鯨舟競漕にチャレンジ」に参加した。今回の事業では、3日間を通して「鯨」に関連付けた活動を行った。まず、1日目は、開講式後、キラメッセ鯨館で鯨について学習した。バーチャル体験やワークショップといった活動を意欲的に行う姿が見られた。その後、海の駅とろむで鯨舟操船の練習を行った。例年通り、チームグリーン・ブルー・レッドに分かれて活動を行ったが、練習当日は風が強く、思ったように鯨舟を操船することができず、苦戦している様子が見られた。

夜間の活動では、鯨舟に飾る旗をチームごとに作成した。それぞれのチームでテーマを決め、相談し合いながら旗を作ることができた。



<2日目>

鯨舟競漕大会当日は悪天候の予報であったが、無事実施することができた。今年度は、16レース中13・14番での出場となった。13レースがチームグリーンとレッド、14レースがチームレッドと室戸アンビションFCの組み合わせであった。子ども鯨舟レース開始直後に小雨となったが、どのチームも一生懸命漕ぎ、力を合わせてレースに臨むことができた。結果は第1位がチームブルー、第2位がチームグリーン、そして、第4位がチームレッドとなった。3位と4位の差は、僅か4秒であり、最も白熱したレースを見ることができた。鯨舟のレースを通して、チームの絆をより深め、仲間と協力して一つのことに取り組むことの大切さを知ることができた。大会後は、鯨肉の試食やマグロの解体ショーなどが行われ、鯨舟競漕大会をより楽しむことができた。



<3日目>

3日目は、佐喜浜でホエールウォッチングを行った。くろしお号で様々なポイントへ向かったが、残念ながら鯨を観察することはできなかった。しかし、遠くに鯨の影が見えたと話している子ども達も多く見られ、必死に目を凝らしながら観察する様子が見られた。活動後は、佐喜浜に生息している鯨の話聞くことで、鯨に関する知識をより深めることができた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・みんなで協力して鯨舟を漕ぐことができた。
- ・チームの絆が深まった。
- ・マグロがおいしかった。

○ 事業の成果

- ・大会を通して、チームで協力して活動し、仲間との絆を深めることができた。
- ・「鯨舟競漕にチャレンジ」に参加することで、挑戦することの楽しさを知ることができた。

○ 事業の課題

- ・事前に水着を準備物に加えておくことで、雨天時にも対応できるようにする。
- ・児童の体力に合わせて、ホエールウォッチングの活動時間を調整する。